

【世界大会出場】内視鏡外科手技の日本代表に外科の真智涼介医師が選出 — WCES 2026 「MIS Championship」へ出場決定 —

【真智Dr 内視鏡競技 世界大会出場のお知らせ】

外科の真智涼介医長が、2026年9月に開催される第22回世界内視鏡外科学会（WCES 2026）における国際競技「MIS（Minimally Invasive Surgery）Championship」の日本代表選手に選出されたことをお知らせします。

本大会は、内視鏡外科手術に必要な縫合・結紮などの手技について、そのスピードと正確性を競う技術競技であり、今回の選出は、同分野において高い専門性と技術力が評価された結果といえます。



【日本代表選出について】

このたび、外科の真智涼介医長が、2026年9月に開催される第22回世界内視鏡外科学会（WCES 2026）における「MIS Championship」の日本代表選手に選出されました。

MIS Championshipは、内視鏡外科手術における縫合・結紮などの手技を対象に、世界各国の代表チームが出場し、速さと正確性を競う国際的な技術競技です。日本代表選考は、2025年12月11日から13日に開催された第38回日本内視鏡外科学会総会において実施されました。年齢、診療科、経験年数を問わない全国規模の選抜で、学会開催前に行われた内視鏡縫合結紮手技のビデオ審査を通過した外科系医師が、総会期間中の決勝に進出しました。

決勝ではさらに厳正な競技が行われ、最終トーナメントを勝ち抜いた上位3名が日本代表として選出されました。

真智涼介はこの選考を突破し、2026年9月に開催されるWCES 2026におけるMIS Championshipに、日本代表チームの一員として出場予定です。

本選出を励みとし、浅ノ川総合病院外科では今後も安全で質の高い内視鏡外科診療の提供に努めてまいります。



競技の様子



日本代表メンバー